

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成23年度第6回定例会
開催日時	平成23年9月28日（水曜日） 18時30分から8時37分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：西嶋剛昭、渡辺文子、千葉佳子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、大島眞之、福島憲子、萩原建次郎、西原みどり 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、寺嶋分館長、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長 専門員：保谷専門員（柳沢）、星野専門員（田無）、山本専門員（谷戸）、海老名専門員（保谷駅前）
欠席者	委員：幸内悦夫、中曾根聡、加藤真理、新藤浩伸
議題	1 第5回定例会の記録について 2 報告事項 1.行政報告 2.公民館だより編集室報告 3.都公連委員部会運営委員会報告 3 事業計画書・報告書について 4 協議事項 5 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	(1) 第5回定例会会議録 (2) 公民館だより編集会議報告 (3) 公民館における防災対策に関する提言 (4) 平成23年度公民館主催事業計画書・報告書 (5) 第49回 東京都公民館研究大会開催要項（案） (6) 事業計画書 1.「佐藤純彌監督と語る現代史と映画の魅力」（谷戸） 2.西東京 文学さんぽ（市制10周年記念事業）（ひばりが丘） 3.身近な素材で自然な色に 草木染め（柳沢） 4.芝久保公民館まつり・公民館主催講座「ピアノ弾き語りライブコンサート」（芝久保） 5.美術講座「20世紀絵画の新しい楽しみ」 幻想画家ルソーから広がる世界（谷戸） 6.地元再発見講座 地域の達人と歩く下保谷・北町巡り（保谷駅前） 7.地域力パワーアップ講座 護身術入門（芝久保） 8.西東京を探る講座「西東京を歩き西東京を知る」（柳沢） (7) 事業報告書 1.フードコーディネーターによる料理&食材レッスン 夏の食材編（田無） 2.身近な材料を使って、ペーパーグライダーを飛ばそう（保谷駅前） 3.キッズ日本文化体験教室 ゆかた着付・茶道・和菓子作りに挑戦（ひばりが丘） 4.夏休み親子・子どもものづくり講座（柳沢） 5.「ピラティス」（芝久保） 6.ビギナーズ現代学（夏編）「被災地の現在を知る」 宮古の日常
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> 有り（ 人） 無し
会議内容	

### (1) 第3回定例会の記録について

訂正なし

### (2) 報告事項

#### 1. 行政報告 2件

館長：

1. 公民館の夏期節電計画の8月分実績を報告する。抑制率は柳沢33パーセント、田無16パーセント、谷戸16パーセント、芝久保29パーセントである。谷戸が18パーセントの目標を若干達せられなかった原因として考えられるのは、1日でも一度に電源を入れたことで、瞬間的にデマンド値が上がり記録されてしまったためと思われる、今後は気をつける。しかし、使用量としては、30パーセント減となった。

各館とも電気料金は前年同月についてかなり削減され、節電についてかなり努力している。

2. 公民館に関する防災対策に係る提言として公民館運営審議会からいただいた件は、各館の要望する備蓄品を取りまとめて危機管理室へ依頼した。

・台風15号について、当日の様子は。→各館とも帰宅困難者について、ロビーにそれほど滞留者はいなかった。田無の2サークル以外は、活動はなし。建物、来館者に被害はなかった。

#### 2. 公民館だより編集室報告

詳しくは添付の報告書のとおり。

・資料訂正1.サークル名ブラックライトシアターSUV SUBに訂正

・1面記事について…3月1日号は、被災について風化をさせないことが大事である。

・その他…なし

・改善について…まつりは、一面記事扱いではないのか。→まつり記事については、概ね4段組みとし、まつり実行委員長の取材を通しての声を中心とした記事とする。

#### 3. 都公連委員運営委員会報告

・8月26日…第2回研修会について検討した。11月27日に全体会（講演会）・交流会が国分寺本多公民館で開催される。研修テーマは新たに公運審委員になられた方向けでアンケートを元に検討する。

研修講師として、長年都公連に関わった前保谷駅前公民館分館長・近藤氏にお願いした。

・9月16日…現状までの講演に関するアンケートとしては、委員としての初歩的基礎知識、国の動向、各市の現状問題課題等が挙げられている。

### (3) 事業計画・事業報告書について（『・』は委員質疑・意見、『→』は職員回答）

#### 事業計画

○事務局：

8ページ（フードコーディネーターによる 料理&食材レッスン 冬の食材編）については、講師の都合等により今回は取下げ削除願いたい。今後検討する。

訂正箇所（正）（1ページ）未完の対局 1982年、（2ページ）11月19日、（4ページ）ピアノの弾き語り

・身近な素材で自然な色に 草木染め 身近な材料は自分で採りにいくのか、皆で集めにいくのか 館の周りに樹木としての素材があるので、集団で集めたもので実施する。

#### ・地域力アップ講座 護身術入門

・テーマと具体的内容のつながり方についての説明を→ばらばらに見えるが、身体の護身術としてはワークショープであり、学習面としては心のケアとして強い女性を支援しようということである。大きい意味でこれが、地域力を上げるのではないか、単純なノウハウものではない。

#### ・計画全般について

・今回散歩関係の行事に偏っているよう見受けられる。参加率とは別に、地域のつながりを持てるようなものを考慮したものや、現在の社会状況を踏まえた講座も必要ではないか。

#### 事業報告

- ・夏休み親子・子どもものづくり講座、「ピラティス」、ビギナーズ現代学（夏編）「被災地の現在を知る」 宮古の日常
  - ・参考意見として、報告書の中に人集めの方法についてのノウハウがあると思う。
- ・キッズ日本文化体験教室 ゆかた着付・茶道・和菓子づくりに挑戦
  - ・アンケート結果が100パーセント満足と80パーセント満足と2種類あり、統一されていないが。→全体集計では、大変満足、満足で100パーセントである。各回個別集計を取ると、毎回、80パーセントを越えるという結果である。
- ・芝久保公民館まつり・公民館主催講座「ピアノ引き語りライブコンサート」
  - ・昨年と同じ講師なのは、好評だったからか、できれば他のジャンルの活動をしている人を探しては、→年齢を問わず好評であった。音楽を楽しむのであるが、3・11被災地の応援歌としても考えている。まつりの実行委員会の中で決めている。
  - （補足）被災地へ行って現地活動をしている人である。そういうことも含めて実行委員会で2年連続を承諾して決めたことなので、ご了解を。
- ・保谷駅前公民館主催講座 身近な材料を使って、ペーパーグライダーを飛ばそう
  - ・参加児童の90パーセントが3年生以下の児童と保護者でということで、ご苦労があったか、工夫したようなところは→アイデアを講師からいただき親子で学ぶことができた。グライダーの飛行時間を記録した認定書を発行したことなどが、児童の良い思い出となる活動となった。
- ・フードコーディネーターによる 料理&食材レッスン 夏の食材編、保谷駅前公民館主催講座 身近な材料を使って、ペーパーグライダーを飛ばそう
  - 以上の報告を踏まえ、
  - 中学生への参加を求める事業の広報の仕方は、児童館ではなく公民館へ呼び込むことの意味等についての意見交換
    - ・投げかけがなければ、参加者がいない場合は、例えば、学校の掲示板を使用させていただき広報する方法がある。
    - ・ストラップ作りの講座のとき、各学校をまわりチラシを置かせていただきPRをした。ホームページを活用したり、手をこまねくのではなくできる限りの取り組みをしている。また、子どもたちが興味を持つ講座をいつも視野に入れている。
    - ・ロビーにいる中高生を目にして、彼らにとって公民館が、大事な居場所としてあることを、実感した。彼らの目につくポスターを貼りPRする方法もある。
    - ・事業のチラシのおき方や配り方については、それぞれ学校と相談しながら実施していきたい。
    - ・ロビーで子ども向けのワークショップ行っている。自由さのある参加方法が、実りつつある。まつりでは、中学校を通じて、机運びや片付けなどのお手伝いの形で参加をお願いしている。講座で呼び込むだけでなく日常の中で取り組みを行っている。
    - ・中学生の職場体験受け入れをを実施しているので、そんな機会も捉えて公民館をよく理解してもらおう。
    - ・公民館以外の施設の係りの中で、学校との調整の上中学生のクラブ活動（茶道部）を受け入れたりして、高齢者から好評を得ている、また、大人に混じり囲碁大会に参加したりしている。他クラブにも広がればいい。
    - ・学校としては、年齢にこだわらず、公民館は異年齢と交流できる場所なのでその辺の考慮もして講座をしていただければと思う。
    - ・子どもたちの拠点づくりというよりも、大人との交流が持てる場所を作っていくことが重要である。大人になるための助走として中高生のための事業企画をしていただければと思う。西東京の公民館は既に条件的に良い環境になっている。
  - ・その他
    - ・市の北側にある公民館でも、南側で実施しているような、外国人の方が共生するうえで必要な事業の企画をお願いしたい。
    - ・保谷駅前の講座の参加者は→講座参加者は、居住、通勤、通学者に限る。事業参加にあつては、近隣からも多く参加がある。

#### (4) 協議事項

なし

#### (5) 事務連絡及び情報交換

「事業計画・報告書の説明」別紙配布資料に基づくもの。

・経過…昨年9月に公運審から事業評価のあり方について諮問をいただいたが、公民館側も10月から専門員の研修の中のテーマとして、事業評価に適した計画書・報告書の様式を検討する運びとなった。半年かけて検討し事業評価の答申と相まって、成果として本日資料として公運審に報告するものである。

・10月から事業計画書・報告書が変わる。来月から計画書は新しくなるが、暫く報告書の新旧様式が混在するかもしれないが了承願いたい。

・特徴点…今までの企画書様式は、事業目的と目標が混在して書き込みがちな様式であったことから、これを改善した。2つを明確に区分し、事業目的は、地域づくり、交流、学習・自己実現、その他区分とし、この中から一つを選択するものとする。目標は大きくは3つを記載する。期待される効果欄を設けている。以上報告書はこれに対応したものである。

・目的がダブらないか→複数の効果はあるが、最終的な目的は一つである。それ以外は効果として捉える。

・達成しない目的の可能性は、そのときの対処は、目的が大掴み過ぎるのではないか→目的を一つ決めて企画したが、期待が異なれば、評価は当然低くなるが、次へのステップとなる。具体的なものは、目標欄に書き込む。結果については、PDCAサイクルにより改善に向かって行くものである。

・報告書の事業評価1、2、3は、企画書の達成目標の1、2、3と対応しているが、達成度と区別しにくい。

・職員が意見を入れ改善をしていくしかないと思う。→これが果たして完全版ではないので、改善が必要なら改善する。

・外部目線で見たとときに分かり易い様式と思う。

・集積されたものは、いい統計資料となると思う。

#### 第52回 関東甲信越静公民館研究大会への参加について

11月18日（金曜日）開催

大島委員、千葉委員、職員6名 計8人の参加申し込みを行った。

#### 東京都公民館連絡協議会 第2回 研修会

11月27日（日曜日）に開催。次回に最終確認を行う。

#### 第49回 東京都公民館研究大会について

12月11日（日曜日）に開催される。次回に最終確認を行う。各参加分会について決めておく。（全員参加でお願いしたい）

#### (6) 次回の日程等について

日程は以下のとおり

10月26日（水曜日） 18時30分 於:田無公民館 第二学習室